令和3年度 伝統文化親子教室事業のご案内

この事業は令和3年度文化芸術振興費補助金を活用し、次の教室を開催するものです。

①**「子供着付教室」**
浴衣、着物、帯の結び方と、巫女装束や狩衣装束の着装を学びます。
【日時】全7回。9月12日・26日、10月17日・31日、11月14日・28日、12月5日のいずれも日曜日午後1時半～3時
【会場】創美流華道會館（前沢5ノ7ノ27）
【対象者】身長140㌢以上の小学生～高校3年生の女子
【定員】10人
【実施団体】小笠原新流梧桐（あおぎり）會
【費用】無料
【持ち物】白い靴下または足袋など
【受付期間】8月1日（日）から定員に達するまで
申し込みはファクス（471・1616）または電子メール（soubi@car.ocn.ne.jp）で同會館・渡邊へ、教室名・氏名・住所・電話番号・学校名・学年をお知らせください。

詳しくは同會館・渡邊☎471・4022へ。

②**「古典芸能である日本舞踊の装いを学んで体験」**
3日間の集中コースで日本舞踊の舞台衣装や日本髪と化粧体験をします。
【日時】全3日。10月14日（木）午後6時半～8時半、16日（土）午前9時半～午後4時45分、17日（日）午前9時半～午後4時45分
【会場】わくわく健康プラザ集会室（滝山4ノ3ノ14）
※抽選状況により日時・会場が変わる場合があります。
【対象者】5歳～高校3年生
【定員】20人
【実施団体】東久留米清新緑風の会
【費用】800円
【持ち物】浴衣、帯、足袋（無い場合は要相談）
【受付期間】8月1日（日）から定員に達するまで
申し込みと詳しくは電話（090・1506・0630）または電子メール（sobu777jp-tokyo@yahoo.co.jp）で創舞流事務局へ、教室名・氏名・住所・電話番号・学校名・学年をお知らせください。

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

民有地のハチ対策

市では、個人の住宅や管理者がいる集合住宅など、民有地にできた蜂の巣の駆除は行っていません。ハチは、特に手入れ不足の庭木などに多く巣づくりをしますので、手入れを充分にしてください。

◎**ハチの巣を取り除くとき**
アシナガバチは攻撃性が少ないので、薬局などで購入できるハチ専用の駆除スプレーでの駆除が可能です。スズメバチは凶暴で攻撃性が強いため、専門の駆除業者への依頼をお勧めします。

◎**駆除業者の紹介**
市と協定を結んだ市内の駆除業者を紹介します（市ホームページからもご覧になれます）。

【ご注意】駆除費用は自己負担です。依頼する場合は、複数の業者から見積りを取り、ご検討ください。
詳しくは環境政策課☎470・7753へ。

▲民有地のハチ対策に関するページ市ホーム

多摩北部広域子ども体験塾
「たまろくまちの探検隊・謎解きミュージアム」の変更について

広報7月15号4・5面に掲載した同イベントは、都における緊急事態措置等を受け、内容を変更して開催します。主な変更後の内容は次の通りです。

◎**5市まち歩き謎解きプログラム（セルフ式）**
開催期間および謎を解いたらもらえる特別記念品の応募期間が変更となりました。
【開催期間および特別記念品の応募期間】9月1日（水）～30日（木）

秋季プログラム
謎を解かなくても、小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市に在住・在学の小・中学生なら応募できるようになりました（応募は1人につきいずれか1日のみ）。また、応募期限が変更となりました。
【秋季プログラムの応募期限】9月21日（火）まで

◎**謎解きナイトミュージアム（参加型）**
【日時】10月9日・30日のいずれも土曜日午後5時半～6時半

注意事項
新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、さらに変更となる場合があります。最新情報などは多摩六都科学館ホームページでご確認ください。
詳しくは同館☎469・6100または市企画調整課☎470・7702へ。

インターネットでデマンド型交通「くるぶー」の利用登録申請ができます

市ホームページまたは専用の予約フォームからデマンド型交通「くるぶー」の利用登録申請ができます。まだ登録されていない方は、ぜひご利用ください。

※既に登録し、「利用登録証」をお持ちの方は、再申請の必要はありません。

【利用登録できる方】市内在住の次の方▼70歳以上の方▼妊婦の方▼0歳～3歳児
※利用登録者の介助者・保護者・同一世帯の方も同乗できます（未登録者のみでの乗車はできません。また、同乗者は登録者と同じ乗降場でお乗り降りできません）

【費用】▼登録料金＝無料▼利用料金＝1人1回500円（同乗者を含めた2人以上の利用は1人1回300円。小学生以下は無料）
詳しくは道路計画課道路交通計画係（市役所5階）☎470・7768へ。

▲専用の予約フォーム

▲市役所前を走る東久留米市デマンド型交通「くるぶー」

河川の水質汚濁を防止するために

市には、黒目川と落合川（一級河川）を中心に、その支川である立野川・楊柳川・西妻川・出水川・弁天川・中溝川の8河川が流れています。その水質は、最近の主な水質基準項目である生物化学的酸素要求量（BOD）値の減少にみられるように、以前に比べ改善し安定してきています。

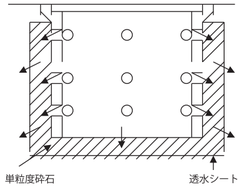
一方で、残念ながら、河川に大量の油が浮いている、ペンキのような液体が流れているなどの水質異常事故も発生しています。

河川の水質汚濁防止について、ご理解とご協力をお願いします。

水質異常事故を防ぐために
▼油やペンキなどは、廃液が出ないように残さず使い切りましょう▼ペンキの残液やハケなどを洗った汚水は、ボロ布や新聞紙に染み込ませるなど、廃棄物として適切に処理しましょう▼洗車などは洗車場などで行い、洗浄排水が河川に流れ込まないようにしましょう

水質異常事故等の対策にかかる原因者負担
水質異常事故処理は、本来、原因者の責任で行うべきものでありますが、被害の拡大を回避するために緊急かつ的確な対応が必要不可欠であることから、河川管理者その他の関係機関が直接清掃などの対策を実施する事があります。
ただし、河川管理者などが事故処理を実施した場合であっても、その措置に要した費用や経費は、原因者が負担しなければなりません。

側溝に流した水は直接川に流れます
市では、道路排水と生活排水を流す管が区別（分流式下水道）されており、道路雨水枡や側溝などに汚れた水を流してしまうと、直接川に流れ出てしまいます。

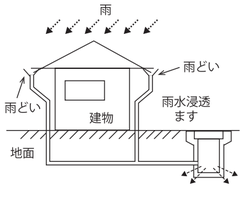


▲雨水浸透ますの構造

▲雨水浸透ますに関する市ホームページ

雨水浸透ますの設置にご協力を
地表面のコンクリートやアスファルト化などによる雨水の地下浸透量の減少は、湧水や河川の水量に影響を与えます。雨水浸透ますは、屋根に降った雨水を地下へ戻し、地下水を涵養する効果が期待できます。市内の豊かな水辺環境を保全するため皆さんの協力をお願いします。

雨水浸透ます設置補助金制度
【申請対象者】敷地が1000平方㍍未満の既存の個人住宅（新築、増築などを除く一般住宅）を所有する方
【補助金額】設置状況により、経費の全部または一部を補助します
ご希望の方は、市指定下水道工事店（市ホームページ参照）または環境政策課☎470・7753へご相談ください。
詳しくは同課へ。



▲雨水浸透ますの仕組み

東久留米消防署からのお知らせ
STOP！電気火災

電気火災とは、電気配線や電気製品に関わる火災のことを言い、発生に気づきにくく、被害が大きくなる危険があります。東京消防庁管内の昨年の全火災は3693件で、そのうち電気火災は、全火災件数の31・5%を占めており、その割合は、年々増加しています。また、電気火災により亡くなる方は増加傾向にあり、その多くは後期高齢者です。

住宅の電気火災で多い原因
①**トラッキング現象＝コンセントと差し込み金具との間に溜まったほこりが湿気などで湿り、電気が流れて発火する現象**
②**たこ足配線＝テーブルタップに複数の電気機器をつなぎ、決められたワット数を超えて使用することにより発熱し、発火に至る原因**

▲東京消防庁ホームページ

電気火災の予防策
①身の回りの電気製品の使い方や、故障や不具合の有無を確認すること
②住宅用火災警報器をすべての部屋・台所・階段に正しく設置し適正に維持管理すること
「いつも使っている電気製品から火が出るなんて」と想像しにくいですが、火災予防をすることで、万が一の火災を早期に発見し、大切な命を守ることができます。
詳しくは、東久留米消防署警防課防災安全係地域防災担当☎471・0119（内線610）へ。

東京消防庁公式アプリのご案内
消防や救急の知りたい情報をいつでも・どこでも・手軽に入手できる安全安心情報ツールです。東京消防庁ホームページから取得できます。ぜひご利用ください。

受験生チャレンジ支援貸付事業

都では受験生（中学3年生・高校3年生）を持つ生計中心者に対し、学習塾などの費用や受験費用を無利子で貸し付けています。

対象校に入学した場合、返済も免除となります（入学に至らなくても一定の要件を満たせば免除となることがあります）。

【事業の内容】中学3年生、高校3年生および3年4月1日時点で20歳未満の高校・大学等中途退学者、高等学校卒業程度認定試験合格者、定時制高校4年生、浪人生などが高校・大学・専門学校などに入学するための受験料と学習塾などの費用を貸し付けます
【貸付金額】▼受験料貸付金＝中学3年生が2万7400円、高校3年生などが8万円▼学習塾等貸付金＝20万円
※いずれも上限額。
ご利用いただける方には一定の条件があります。詳細は市ホームページをご確認ください。

▲受験生チャレンジ支援貸付事業に関する市ホームページ

都営住宅の入居者を募集します

都の事業ですが、受け付け・申し込みは市福祉総務課（市役所7階）が窓口となります。

申し込みは4年1月31日（月）までに同課へ。
※申請書は1月21日（金）までに事前に連絡の上、同課へ受け取りに来てください。なお、郵送での手続きも可能です。
詳しくは同課福祉政策係☎470・7749へ。

▲東京都住宅供給公社ホームページ

戦没者等の妻に対する特別給付金の手続きはお早めに

戦没者等の妻に対する特別給付金（第二十二回「か号」）の請求期限は9月30日です。手続きがお済みでない方は、お早めにご請求ください。
【対象】第十七回特別給付金国庫債券「か号」を受給していた、または受給権のあった方で、平成30年10月1日において公務扶助料、遺族年金等の受給権を有している方
詳しくは福祉総務課福祉政策係☎470・7749または都福祉保健局生活福祉部計画課☎03・5320・4077へ。

平和の千羽鶴へのご協力ありがとうございました

「2021 東久留米市平和事業「平和の千羽鶴」の作製に、多くの市民の皆さんのご協力をいただき、ありがとうございました。

皆さんの平和への願いを込めた千羽鶴を、市長のメッセージとともに、原爆被爆地である広島市（平和記念公園）と長崎市（長崎原爆資料館）にお届けします。

今後も市の平和事業にご協力をお願いします。
詳しくは総務課庶務担当☎470・7714へ。

▶市役所庁舎内広場に飾られた千羽鶴

令和3年度 東京都シルバーパス更新手続きのご案内

現在お持ちの「東京都シルバーパス」の有効期限は9月30日です。

今年度の更新手続きは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度と同様、東久留米市役所を含めた会場での更新は行わずに、原則として郵送による手続きになります。

有効期限が3年9月30日のシルバーパスをお持ちの方には、8月中旬頃に東京バス協会から「令和3年度東京都シルバーパス更新手続きのご案内」が届きます。

更新を希望される方は「ご案内」を必ずお読みの上、手続きをお願いします。
【対象】2年度シルバーパス（有効期限3年9月30日）を持っている方
詳しくは東京バス協会シルバーパス専用電話☎03・5308・6950（土曜・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時）へ。

市民伝言板

会員募集

◆**棒術・居合術（練心武勇会）** 毎週日曜日午前11時半～午後1時50分、市スポーツセンターで。入会金3000円、会費月3000円。稽古で健康な体を造ります。未経験の方も歓迎します。詳しくは細谷☎421・4075へ。

◆**ソフトボール（東久留米ファイターズ）** 毎週火曜日午後3時～6時、南町運動広場で。入会金1000円、会費年6000円。ソフトボールはもっと面白い、明るく、楽しく和気あいあいでやろう。詳しくは前原☎472・6488へ。

◆**体操クラブステップ** 月3回。木曜日午前10時～11時半、コミュニティホール東本町他で。入会金1000円、会費月2500円。無理なく筋力・脳トレ、体を元気に笑顔を取り戻すストレッチ体操。詳しくは渡辺☎474・8472へ。

◆**実用書道（明峰書院）** 月3回。水曜日午前9時半～正午、生涯学習センター他で。会費月3500円。初心から師範まで養成。漢字、仮名、ペン字を明るく楽しく仲良く指導。詳しくは齊藤☎473・2575へ。

◆**書道（NPO法人国際書画交流会）** 月2回。月曜日に各コースあり。日曜日には子どもコース。午前9時半～正午他、浅間町一丁目自宅1階、南町都営住宅集会所で。会費月2000円。書道練成院新設20人募集。初心者・高齢者歓迎。師範資格取得も可。詳しくは福田☎090・9396・6964へ。

◆**健康麻雀（前沢ときわ会）** 毎週月曜日午後0時半～5時、西部地域センターで。入会金1200円、会費年1200円他。女性にやさしい「ありあり健康麻雀」を楽しみませんか。詳しくは鈴木☎080・6520・1133へ。

◆**東久留米市ストーウエルネス吹矢協会** 毎週金曜日午前9時～11時他、市スポーツセンターで。入会金1000円、参加費1回300円。スポーツウエルネス吹矢式呼吸法でさまざまな健康効果が期待できます。詳しくは土屋☎090・3314・0902へ。

◆**東久留米市山岳連盟** 月2～3回、日曜日午前6時～午後6時他。奥武蔵、秩父、奥多摩などの山々で。入会金5000円、会費月7000円他。初心者歓迎。大自然に触れながら心身ともにリフレッシュしましょう。詳しくは中山☎090・4675・7148へ。

催し

◆**にじメディアVol.5・6（にじメディア制作委員会）** 8月21日（土）、9月18日（土）のいずれも午後2時～4時半、さいわい福祉センターで。入場料500円。障害理解を深める映像作品の上映とトークコロナの状況によりオンライン開催のみの可能性があります。詳しくは齊藤☎448・0712へ。